

極秘

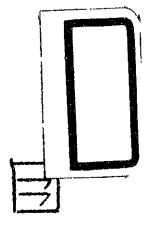
自昭和十七年二月十四日
至昭和十七年二月十五日

第一挺進團パレンバン進攻部隊
及下直接協同挺進セル飛行部隊
作戦經過概要

南方軍總司令部



ふ井ふま



次

第一 作戰開始前ニ於ケル狀況

第二 空輸挺進作戰參加部隊

第三 二月十四日ノ戰鬪

- 一、ハレンバン飛行場ニ於ケル戰鬪
- 二、ハレンバン精油所ニ於ケル戰鬪

第四 二月十五日ノ戰鬪

第一挺進團ハレンバン連攻部隊
及之ト直接協同セル飛行部隊
作戰經過ノ概要

第一 作戰開始前ニ於ケル狀況

第一挺進團ハ宮崎縣新田原ニ編成完了以來幾多

ノ障礙ヲ排除シテ作戰準備中

一月三十一日南方軍命令ニヨリ第三飛行集團長

ノ指揮ニ入ラシメラレレンバン飛行場ヲ占領

シテ南部スマトラ及シヤバ作戰ヲ容易ナラシム

ルト共ニ敵ノ破壊ニ先テ「バレンバン」精油所ヲ占領
確保スルノ任務ヲ受ケ陸軍嚆矢ノ挺進作戰ヲ決
行スルニ到レリ

馬來半島ニ於ケル敵軍ハ逐次新嘉坡島ニ壓縮セ
ラル、ヤ其ノ殘存敵空軍ハ逐次スマトラ島方面
ニ退避シ殊ニ要地「バレンバン」ハ敵空軍ノ根據地
トシテ二月五日六小型機數五十六機ヲ算スルニ

到レリ。挺進作戰ニ先テ在「パレンバン」敵空撃滅_軍
ノ爲第三飛行集團長ハ二月六日以來三次二月十
三日ニ次ニ亘リ「パレンバン」飛行場ヲ攻撃シ其ノ撃
墜破數ハ約九〇餘機ニ達シ敵機ノ大部ヲ撃滅成
果極メテ大ナルモノアリ 挺進決行前日_夜十三日
「パレンバン」飛行場ノ攻撃ハ「ハリケン」五「スポットファイア」
一ト交戦「ハリケン」五「不確實」ニヲ撃墜大型四ヲ爆

破セリ、其ノ他ノ「スマトラ」島ノ飛行場ニ於テハ
パカンバル「パダン」ニ大、中型各々一、二機ヲ認ムル
ハ、ミニシテ挺進成功ノ確信ヲ得ルニ至レリ
第一挺進團ノ挺進決行部隊ハ金邊ニアリシガニ
月六日「ズガイパタ」ニ躍進、同地ニアリテ整備
訓練及「パレンバン」附近事前偵察ヲ實施シ二月十
三日同隊及直接協同挺進飛行部隊ハクルワン

カハシ飛行場ニ躍進展開シ挺進準備ヲ行ヘリ
二月十五日バレンバンニ上陸ヲ決行スベキ第三
十八師團ノ船團ハ該地ニ向ヒ航行ノ途上ニア
リ

1260

第二 空輸挺進作戦参加部隊及部署

第一挺進團パレンバン進攻部隊

配屬部隊

第十二輸送飛行中隊

直接協同挺進セル飛行部隊

第三飛行團（飛行第三十七、第七十五戦隊欽）

配屬部隊

飛行第六十四戦隊

第十五獨立飛行隊（獨立飛行第五十二中隊）

飛行第九十八戰隊

飛行第八十一戰隊ノ一部

部署概要別紙第一ノ如シ

第三、二月十四日ノ戰鬪

挺進決行部隊ハ二月十四日クルアンレカハン飛行

場ヲ發進「ハツパハト」上空ニ於テ「九三」頃空中

集合ヲ完了、高度三〇〇〇米ヲ以テ直路ニシ河

河口ニ向ヒ航進セリ。馬來半島附近ハ風弱ク晴

又ハ薄曇〔層積雲又ハ層雲〕雲低一〇〇〇米餘、視程

ニ〇吉以下ナリス、マトヲ方面ハ天候惡化ノ直前

ニ在ルモノノ如ク雲形層雲又ハ積雲多ク最低

ニ〇〇米、新嘉坡ノ火災ニヨル煤煙ハ遠クニシ

河河口ニ連サ、視程ハ極メテ不良ナリ

然レドモ本不良氣象ハ却ツテ敵ヲ奇襲シ得タル
結果トナリ正ニ天祐ト稱シ得ベシ、
挺進決行諸
部隊ノ空中集合要領、
航路、
高度、
基準速度、
航進隊形、
進入及降下地域、
ハ別紙第二乃至第七
ノ如シ

斯クテ目標上空ニ至ルヤ狼狽セル敵ノ高射砲、
高射機關銃砲ノ猛射ヲ受ケタルモ高度ニロホラ

以テ一ニ六及一三〇飛行場及精油所ニ夫々
 降下ヲ完了セリ。第十五獨立飛行隊ノ司偵機ハ
 〇九〇〇ニ於ケルバレンバン附近ノ天候通報ニ
 仕ジ他ノ一機ハ降下後ノ監視ニ仕ジタリ

一、バレンバン飛行場ニ於ケル戦闘

飛行場急襲ノ主力部隊〔聯隊長以下一八〇名〕ハ一一
 二六飛行場南方ニ、一部〔中隊長以下六〇名〕ハ一一三〇

飛行場西側ニ降下ス、強行著陸機ハ飛行場西南
約一〇吉ノ地點ニ強行著陸セリ、

敵ノ對空火器ニ依ル射撃ハ猛烈ヲ極メタルモ我
損害輕微ニシテ飛行場西側ヲ攻撃セル第十二輸
送飛行中隊三谷機受彈ノタメ飛行不能トナリ同
地附近ニ強行著陸セルノミナリ

又敵戦闘機四機飛翔シアリシモ我戦闘隊ノ掩護

ニヨリ直接我輸送機ヲ攻撃スルニ至ラス

飛行第九十八戰隊〔重爆隊〕ハ密ニ降下部隊ニ協力

シ物料ヲ投下セリ、投下時敵戦闘機ノ攻撃ヲ受ケ

タルモ反テ其ノ一機ヲ確實ニ撃墜ス、飛行第九

十戰隊〔双發輕爆機〕ハ一、三、〇飛行場隅角附近對空

火器ヲ制壓シ、飛行第六十四戰隊及第五十九戰隊

〔共ニ戦闘隊ニシテ加藤部隊長統一指揮〕ハ直接挺進隊

b

1267

ヲ掩護シアリ敵戦闘機四機現出スルヤ直ニ之ヲ
攻撃ニ機ヲ撃墜セリ輸送飛行隊ハ降下後ノ狀況
ヲ認め西方ニ離脱出發飛行場ニ歸還セリ、強行著
陸機ニ搭乘シアリシ挺進團長ハ強行著陸後部下
ト共ニ聯隊本部ノ位置ニ前進セントスルモ途中
敵ノ警戒線ニ遭遇シ或ハジヤングル濕地帯等ニ
妨ゲラレ行動意ノ如クナラス、翌十五日二三ノ

ニ至リ漸ク聯隊本部ノ位置ニ到着爾後戦闘ヲ指
導セリ降下部隊ハ一ニ一〇飛行場東側ニ向
ヒ攻撃前進シ各所ニ於テ敵ヲ撃破シ一九三〇飛
行場ヲ完全ニ占領セリ

飛行場急襲部隊降下及戦闘經過別紙要圖第八ノ
如シ

ニ「パレンバン」精油所ニ於ケル戦闘

精油所方面ノ主力(中尾中隊長以下六〇名)ハ西精油
所西側ニ一部(長谷部少尉以下二九名)東精油所南側
ニ一〇三〇急襲降下セリ、

飛行第五十八戦隊(重爆隊)ハ密ニ降下部隊ニ協力
物料ヲ投下セルモ精油所ヨリノ猛烈ナル對空射
撃ヲ受ケ遂ニ須藤機ハ胴体「タンク」ニ引火シ白煙

ヲ吐キツ、モ悠々物料投下ノ任務ヲ完遂シタル
後猛烈ナル自爆ヲ遂ゲ又外ニ機上負傷者ニ名ヲ
出セリ輸送飛行隊ハ降下部隊ノ状況ヲ認メタル
後西方ニ離脱後直路出發飛行場ニ歸還セリ
降下急襲部隊ハ一ノ、二ノ、三ノ間ニ投下物
料ヲ收集武装ヲ完了シ會社事務所及「トッピング」工場
攻撃ヲ開始シ西精油所ハ一四一〇之ヲ占領

東精油所ハ小隊長長谷部少尉戦死セルモ円羽曹
長之ニ代リテ小隊ヲ指揮シ夜半トツピング工場
ヲ占領ス、斯クテ各々該地ヲ確保シアリシガ十
五日一四〇〇中隊長ハ兩工場ノ兵力ヲ掌握シ確
實ナル警備ニ就クニ至レリ（別紙第九参照）

第四、二月十五日ノ戦闘

二月十四日降下急襲部隊増強ノ目的ヲ以テ發進

セル第二次挺進部隊(約九〇名)ハ一三〇〇飛行場ニ
到達、降下シテ戦カヲ増強セリ、之ヨリ先 第
三飛行團ノ司偵機ハ一〇三〇飛行場ニ著陸シ無線
機及投下武器弾薬ノ大部未入手等ニ關シテ密ニ
連絡スル所アリ乃チ第三飛行集團長ハ在ガハニ
飛行場大隊ノ人員、武器弾薬ヲ輸送機ニヨリ急
送中同時ニ第十ニ飛行團(戦闘隊)ノ一中隊ヲ回シ

ンバン」飛行場ニ躍進掩護セシメタリ降下部隊
ハ一六〇〇パレンバン」兵營攻撃ノタメ出發
一八ニ〇兵營ニ突入之ヲ占領シ挺進團長亦一
九三〇兵營ニ到着セリ

斯クテ市内ヲ掃蕩スルト共ニ精油所ニ連絡中
二一〇〇頃第三十八師團先遣隊ノ上陸部隊ト會
同逐次之ト警備ヲ交代スル兩日ノ戰鬥ニ於ケル損

害ハ挺進團總員四八ニ名中戰死將校ニ名、
准
士官以下三八名外ニ戰傷者五十五名ナリ、飛
行場附近及精油所附近地上戰鬪經過要圖別紙
第八第九ノ如シ

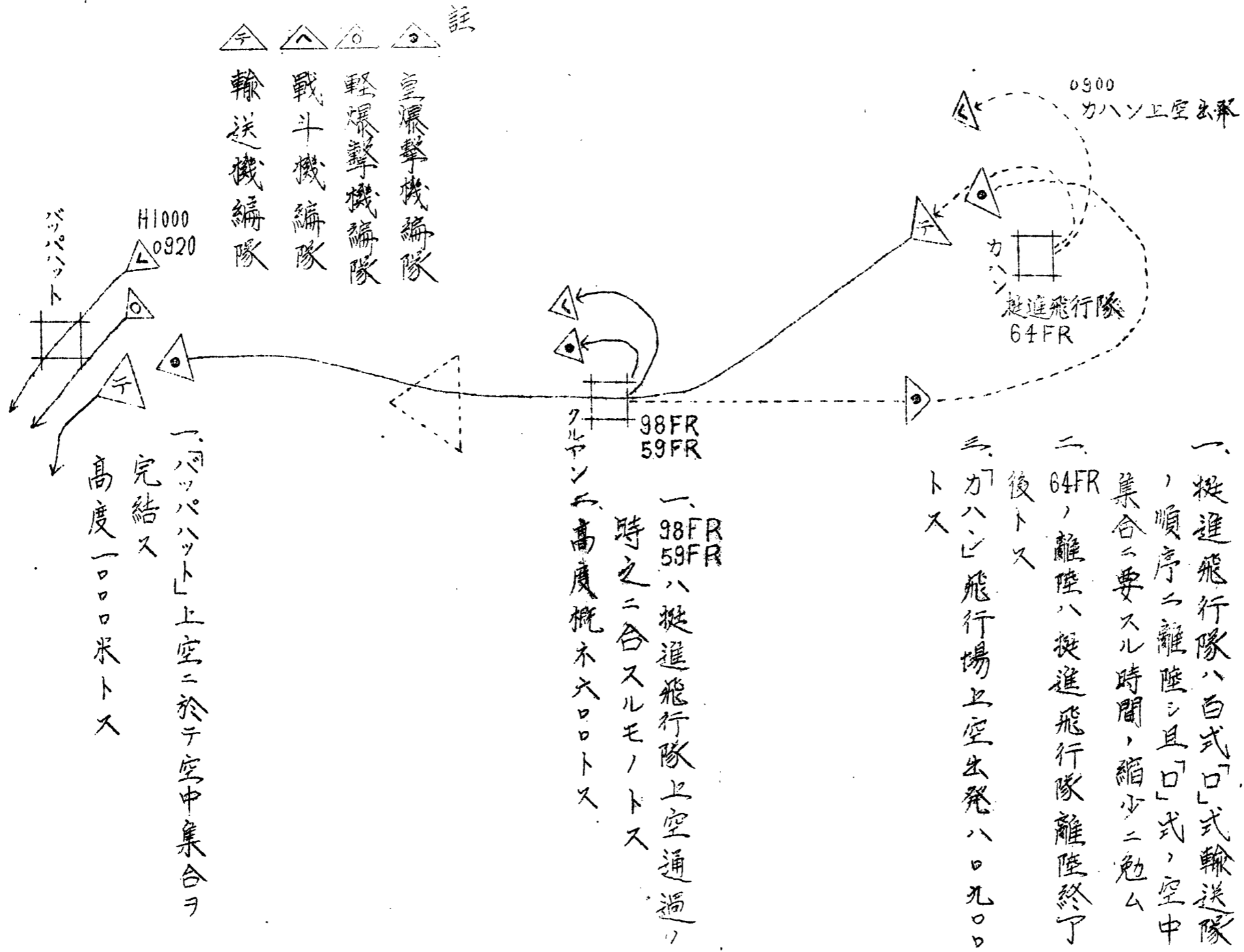
1275

ハレンバン挺進作戦兵力部署日程概見表

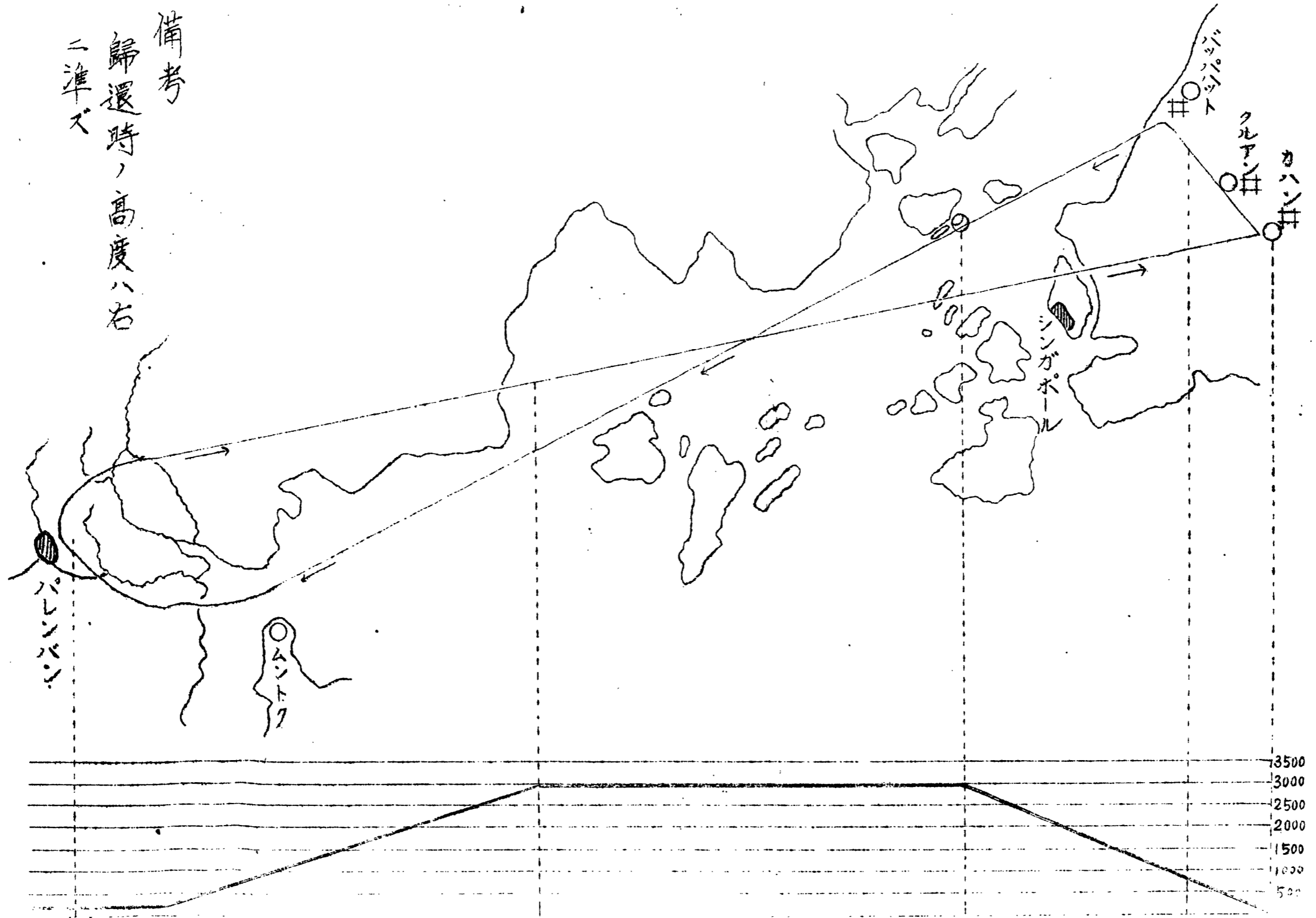
作戦日程	兵力概要	作戦目的(任務)	行動概要
二月三十日	挺進団第1次挺進部隊 飛行第98戦隊 飛五九ノ三機 飛八一ノ三機 第三飛行団ノ軽爆隊	第1次挺進ノ為各梯団毎ニカルア ン及ガハンニタ列迄ニ集結シ 十四日日出動準備	(1) 挺進団第1次挺進部隊ハ ケイバタニ出発カルアン及 カハンニ前進ス (2) 飛行第98戦隊ハケアル カルアンニ集結ス
二月十四日	第一梯団 第二梯団 第三梯団 第四梯団 第五梯団 第六梯団 第七梯団 第八梯団 第九梯団 第十梯団 第十一梯団 第十二梯団 第十三梯団 第十四梯団 第十五梯団 第十六梯団 第十七梯団 第十八梯団 第十九梯団 第二十梯団 第二十一梯団 第二十二梯団 第二十三梯団 第二十四梯団 第二十五梯団 第二十六梯団 第二十七梯団 第二十八梯団 第二十九梯団 第三十梯団 第三十一梯団 第三十二梯団 第三十三梯団 第三十四梯団 第三十五梯団 第三十六梯団 第三十七梯団 第三十八梯団 第三十九梯団 第四十梯団 第四十一梯団 第四十二梯団 第四十三梯団 第四十四梯団 第四十五梯団 第四十六梯団 第四十七梯団 第四十八梯団 第四十九梯団 第五十梯団 第五十一梯団 第五十二梯団 第五十三梯団 第五十四梯団 第五十五梯団 第五十六梯団 第五十七梯団 第五十八梯団 第五十九梯団 第六十梯団 第六十一梯団 第六十二梯団 第六十三梯団 第六十四梯団 第六十五梯団 第六十六梯団 第六十七梯団 第六十八梯団 第六十九梯団 第七十梯団 第七十一梯団 第七十二梯団 第七十三梯団 第七十四梯団 第七十五梯団 第七十六梯団 第七十七梯団 第七十八梯団 第七十九梯団 第八十梯団 第八十一梯団 第八十二梯団 第八十三梯団 第八十四梯団 第八十五梯団 第八十六梯団 第八十七梯団 第八十八梯団 第八十九梯団 第九十梯団 第九十一梯団 第九十二梯団 第九十三梯団 第九十四梯団 第九十五梯団 第九十六梯団 第九十七梯団 第九十八梯団 第九十九梯団 第一百梯団	(1) 第一梯団 ハレンバン飛行場附近ニ挺進決 行同飛行場確保及九七戦隊使用ノ 為應急整備 ハレンバン飛行場ノ對空火器制限 (2) 第二梯団 ハレンバン精油所附近ニ挺進決 行同精油所ヲ敵ノ破壊ニ先ダケ 占領確保ス (3) 飛九八戦隊ハ兩梯団ノ各輸送 飛行中隊毎ニ其ノ所屬兵器資材 ヲ輸送シ且該輸送飛行中隊 ノ後方ニ對空火網ヲ構成ス (4) 戦闘部隊ハ各其ノ梯団毎ニ直接 掩護ニ仕ス (5) 司令機ハ直前及同行偵察誘 導等ニ仕ス 飛行場附近對空火器ノ制壓	(1) 第一梯団ハ直前上ル (2) 第二梯団中ノ一ト行動ヲ共ニス (3) 第三梯団ハ直前上ル (4) 輸送機ノ状況之ヲ許サザル 場合人員減少ノ要アル時ニ アリテモ單位部隊數ヲ減少 セザルモノトス (1) 第1次挺進掩護歸還後速カ ニ船団上空ニ到リ概ネモロロ以 後掩護ニ仕ス (2) 薄暮時帰還若陸シ得ルヲ 目途トシ之ヲ中止ス (1) カルアンニ飛行場ヲ発進其基 地トス (2) 挺進決行時刻ニ三マート予定 其ノ先進ニ関シテハ別命ス
二月十五日	第三飛行団(配屬部隊 ヲ含シ)戰隊ノ一部 第三飛行団ノ輕爆部 隊ノ一部 第三梯団 第二梯団 第一梯団 第三飛行団(配屬部隊 ヲ含シ)戰隊ノ一部 飛八一戰隊ノ一機 第三第七飛行団ノ部 第三飛行団ノ部	第三十八師団ノ船団上空 掩護	(1) ハレンバン飛行場ノ應急整備ニ伴 ニ同飛行場ニ挺進シハレンバン附 近ノ防空ニ仕ズル準備ニ在リシム

別紙第二

第一次挺進部隊空中集合要領要圖



別紙第二
第一挺進部隊航路及高度概見圖



備考
歸還時ノ高度ハ右
ニ準ズ

別紙第四

基準速度 (計器速度)

1. 上昇

二三〇 KM

2. 上昇率

一米~~秒~~

3. 水平

二五〇 KM

4. 降下

二八〇 KM

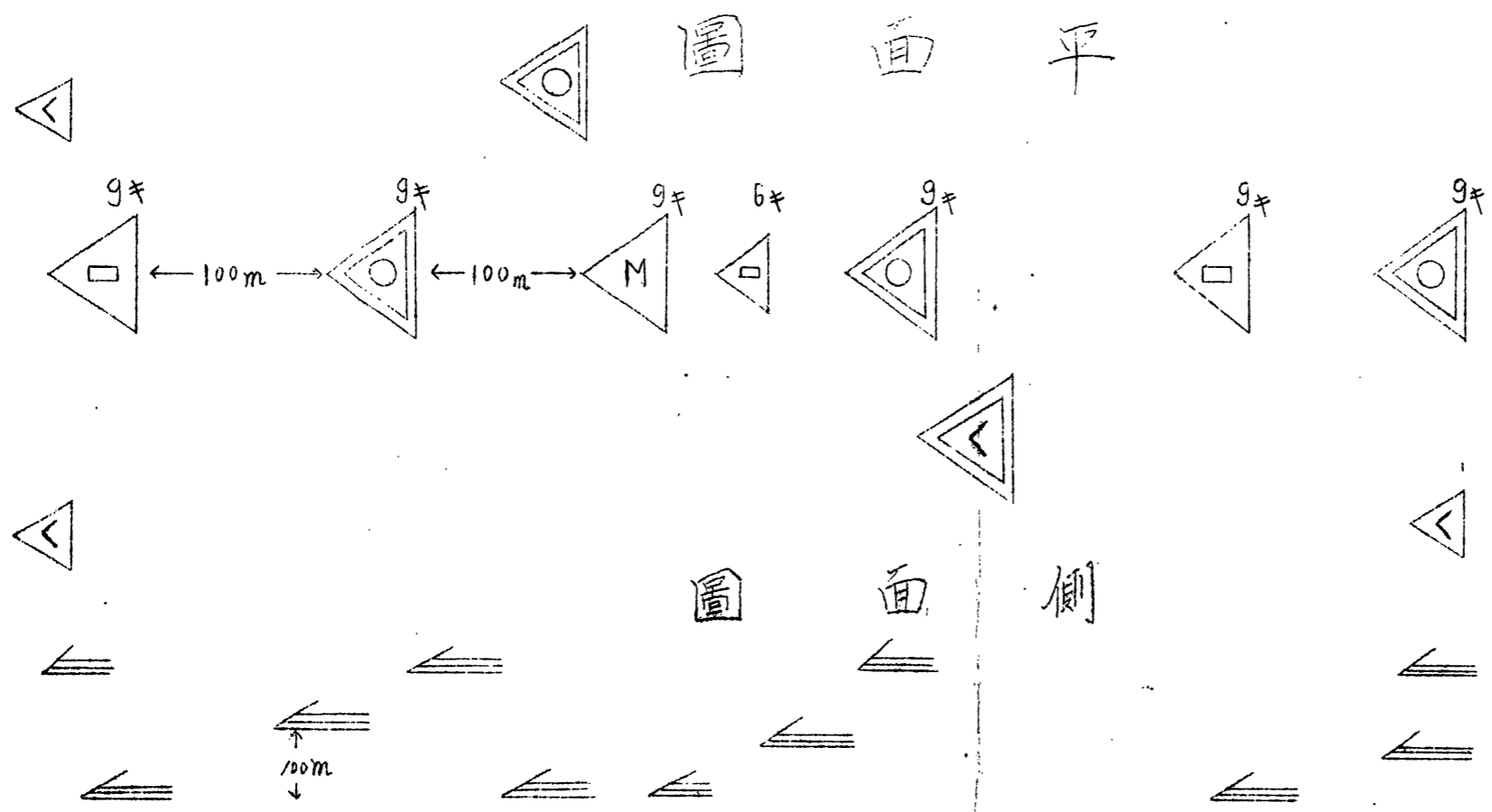
5. 降下率

一米~~秒~~

6. 人員降下 (投下)

二〇〇—二一〇 KM

第一次挺進部隊航空進隊形概見圖



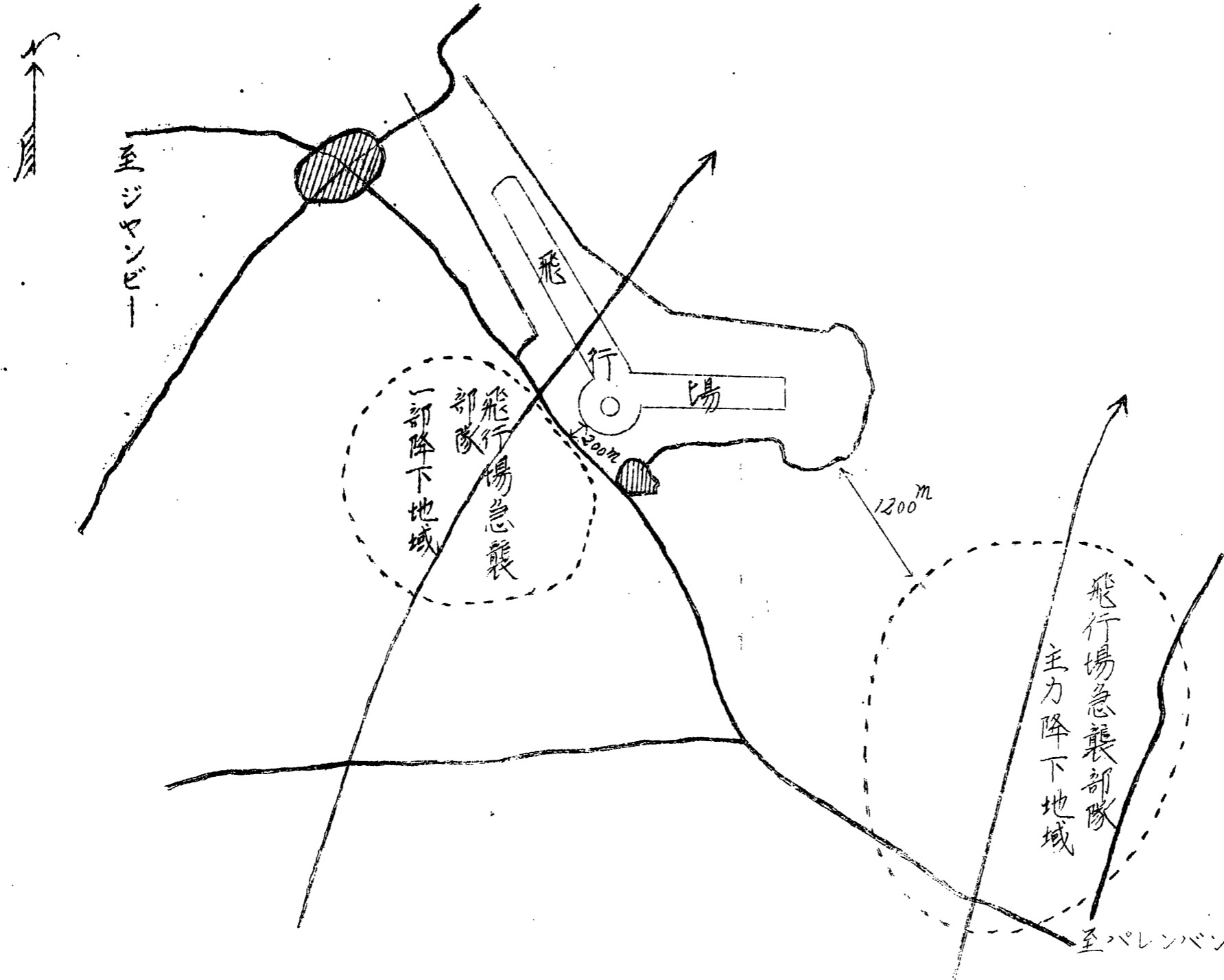
備考

- 一 編隊間ノ距離ハ適時
閉縮スルコトヲ得
- 二 敵戰鬥機出現スルヲ豫
察セバ後尾編隊郡ハ
第二編隊群ノ左方ニ出
ルモノトス
- 三 強行着陸機ハ第二編隊
群第一編隊長機ノ
位置ニ在リテ航空進セシ

- △ 爆撃機編隊
- 式輸送機編隊
- M 百式輸送機編隊
- △ 戰鬥機編隊

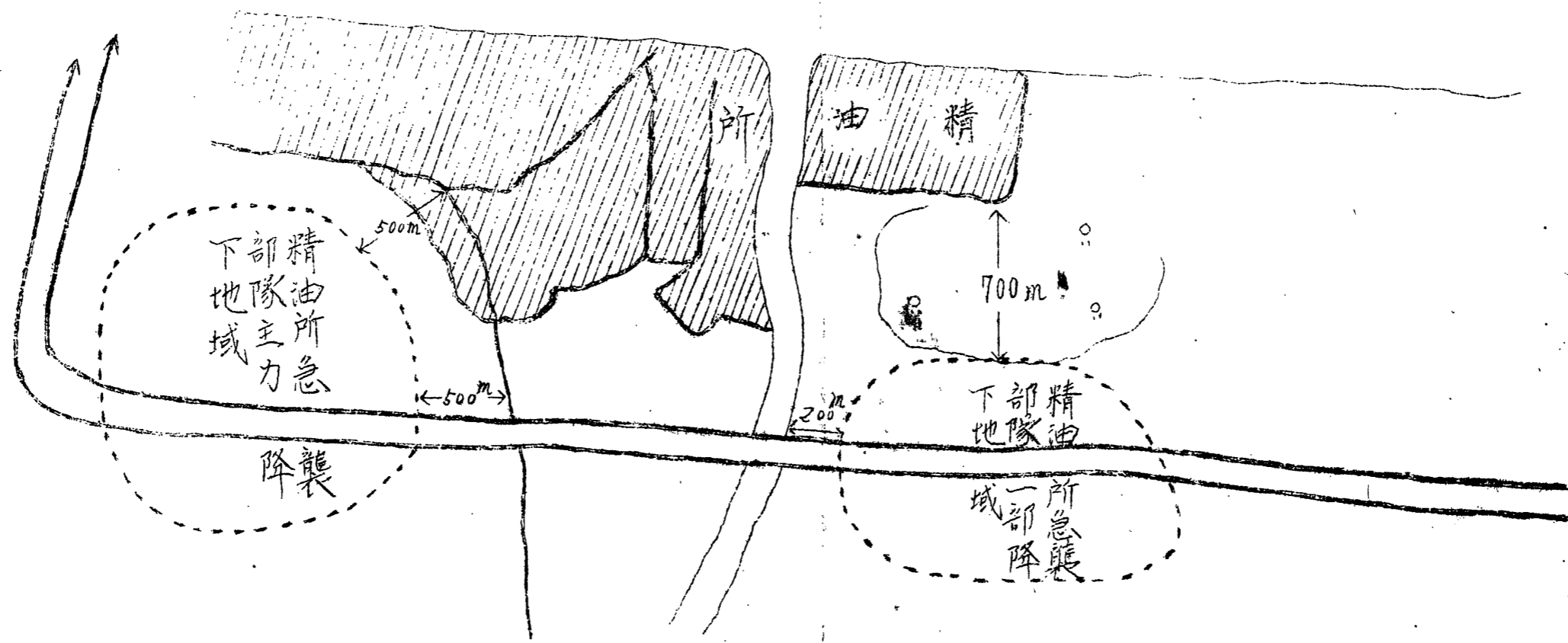
飛行場急襲部隊進入及下降地域要圖

別紙第六



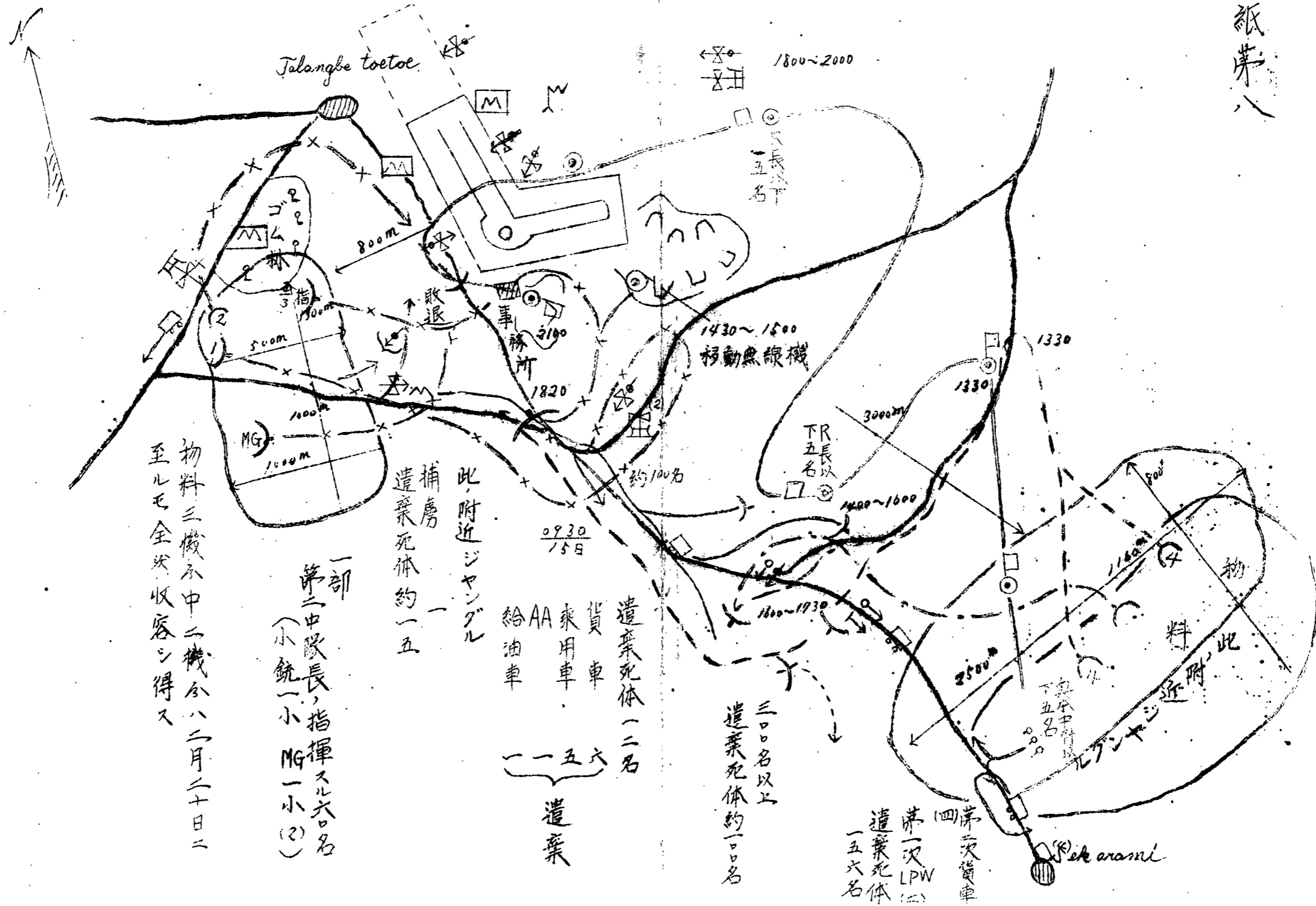
圖要域地下降及入進隊部襲急所油精

別紙第七



飛場急表部隊及戰五之要圖

第八卷紙



物料三機不中ニ機令ハ二月二十日ニ
至ルモ全然收容シ得ヌ

第一部
第二中隊長、指揮スル六〇名
(小銃一小 MG一小(2))

此附近ジャングル
捕虜
遺棄死体約一五

0930
15日

遺棄死体一二名
貨車
乗用車
AA
給油車
一五六
遺棄

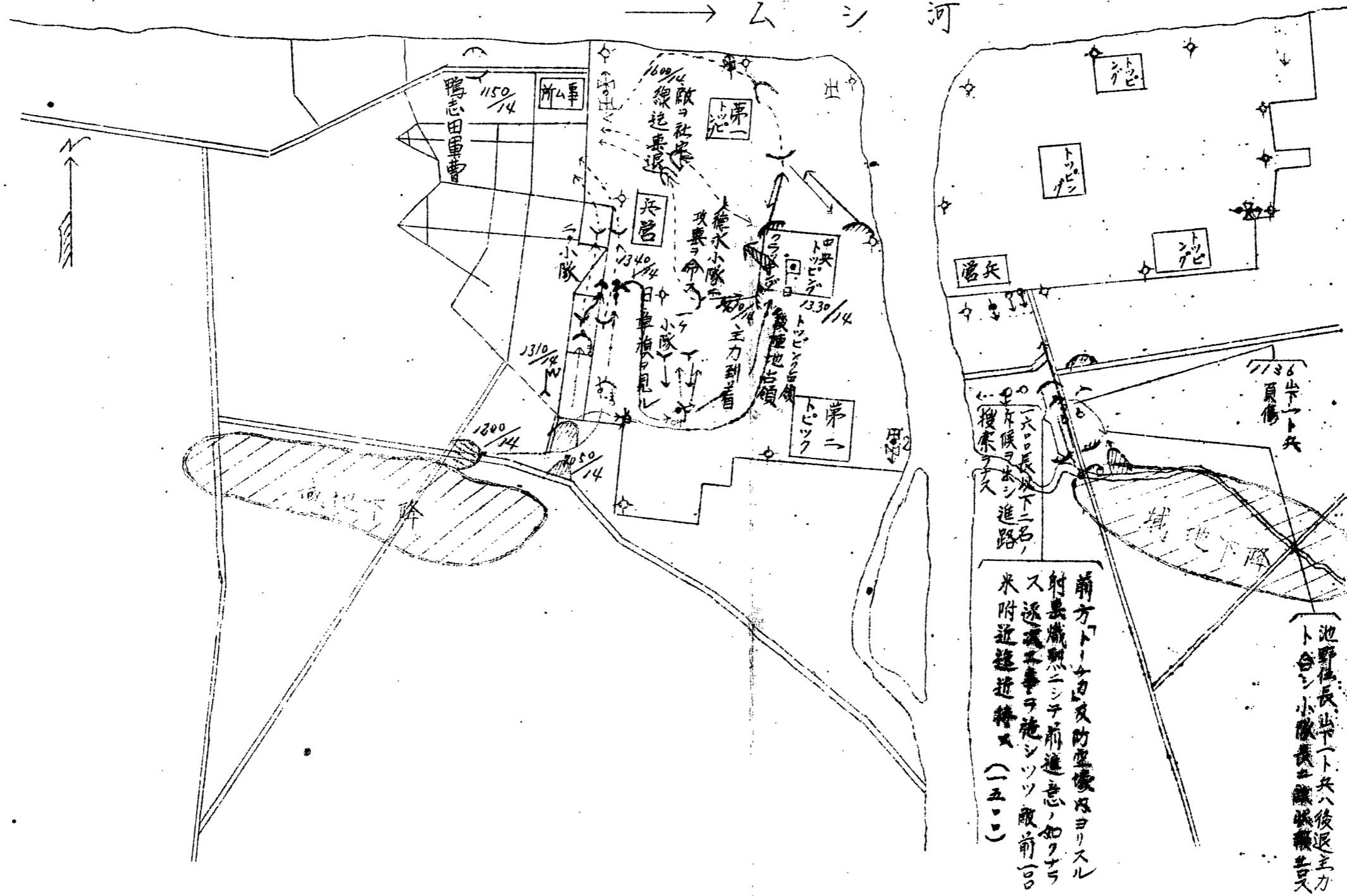
三〇〇名以上
遺棄死体約一〇〇名

第二次貨車
第一次LPW
遺棄死体
一五六名

精油所附近戰鬥經過要圖

→ムシ河

別紙第九



前方ト、女防壁壕内ヨリスル
射撃機熱ニシテ前進意ノ如クナラ
ス逐次本陣ヲ施シツツ敵前ヨリ
米附近遠近掃蕩 (一五〇)

池野長山下ト兵八後返主カ
ト合シ小隊長ニ離れ難キ事